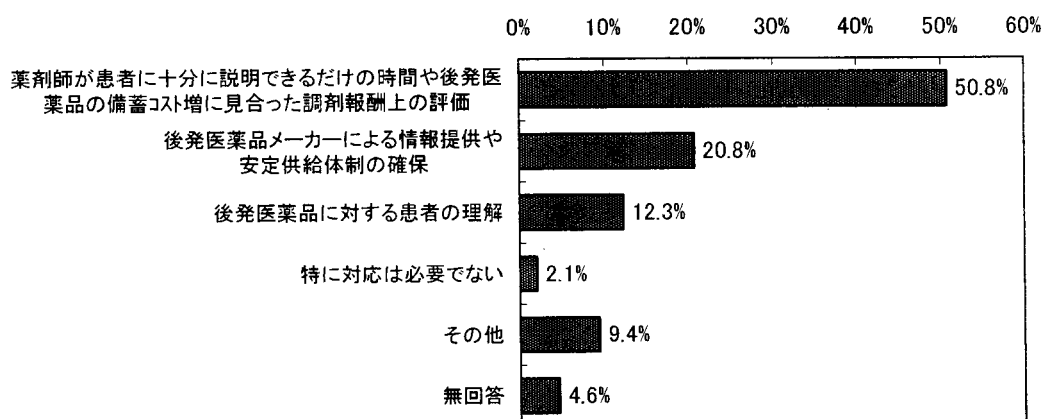


6) 後発医薬品への変更を進めるための要件

図表 28 処方せんの「後発医薬品への変更可」欄に処方医の署名等があったが、変更しなかった場合について、薬局の立場として後発医薬品への変更を進めるための要件（単数回答、n=583）



7) 後発医薬品に変更して調剤した処方せんに係る薬剤料の状況

図表 29 7/23～29に後発医薬品に変更して調剤された処方せん（1,838枚）の状況

	平均値	標準偏差	中央値
記載銘柄により調剤した場合の薬剤料(A) (点)	946.0	1,901.8	442.0
実際に調剤した薬剤料(B) (点)	684.6	1,493.2	308.0
記載銘柄により調剤した場合の薬剤料に占める、実際に調剤した薬剤料の割合(B/A) (%)	72.4%		69.7%

図表 30 患者一部負担金割合別にみた、7/23～29に後発医薬品に変更して調剤された処方せん（1,838枚）の状況（平均値）

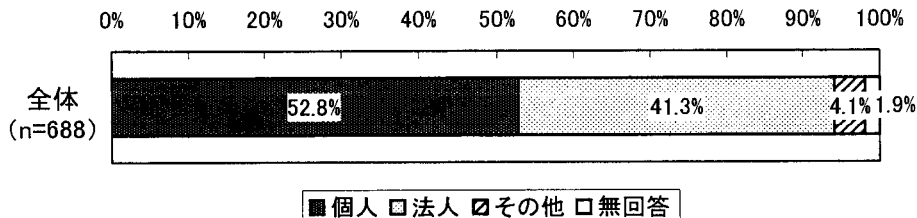
	患者一部負担金割合					
	全体	0割	1割	2割	3割	10割
処方せん枚数(枚)	1,838	131	552	6	1,122	6
記載銘柄により調剤した場合の薬剤料(A) (点)	946.0	896.1	975.6	142.5	950.6	208.5
実際に調剤した薬剤料(B) (点)	684.6	666.0	753.2	101.3	659.6	176.5
記載銘柄により調剤した場合の薬剤料に占める、実際に調剤した薬剤料の割合(B/A) (%)	72.4%	74.3%	77.2%	71.1%	69.4%	84.7%

(注) 患者一部負担金割合の「全体」には、患者一部負担金割合が不明だった処方せん21枚が含まれる。

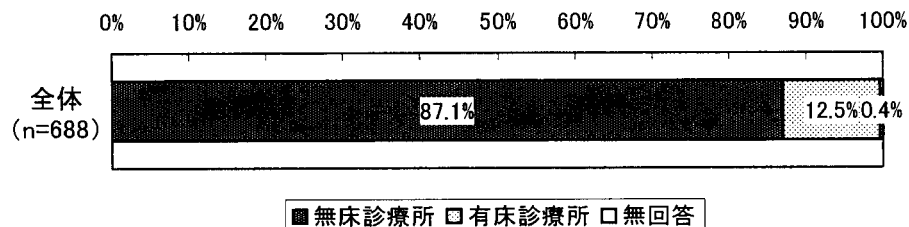
(3) 診療所・病院・医師調査の結果概要

1) 診療所の施設属性

図表 31 診療所の開設者

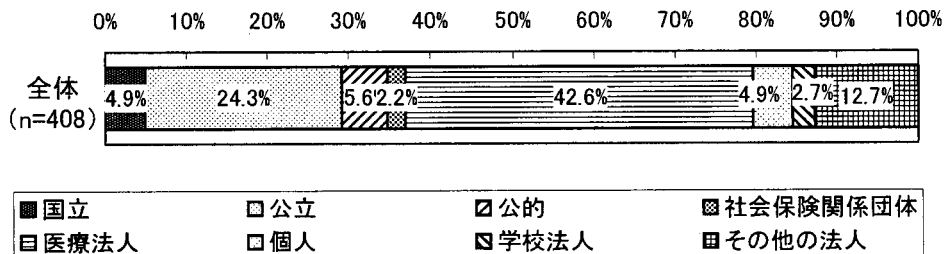


図表 32 診療所の種別

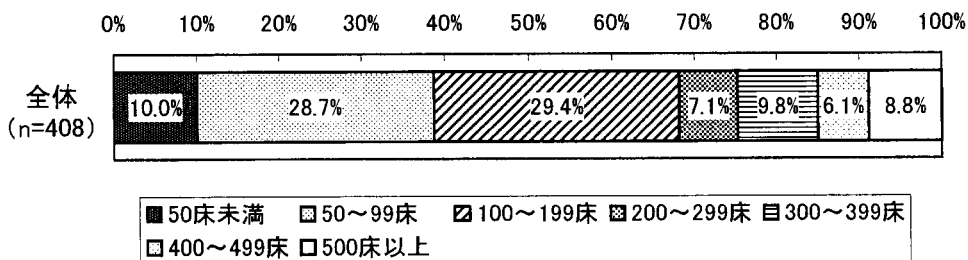


2) 病院の施設属性

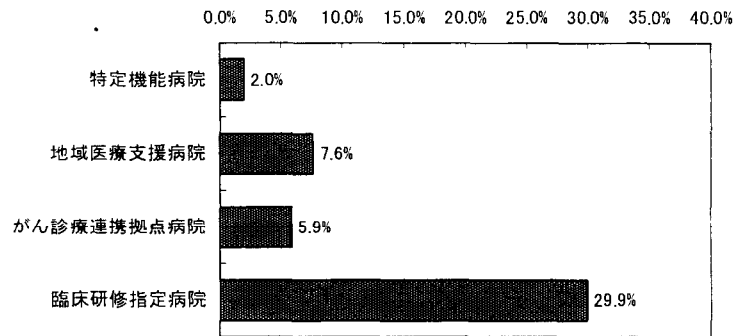
図表 33 病院の開設者



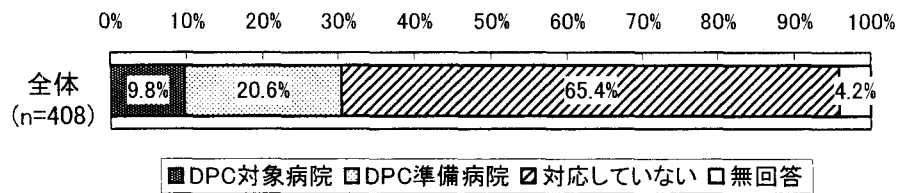
図表 34 病院の病床規模



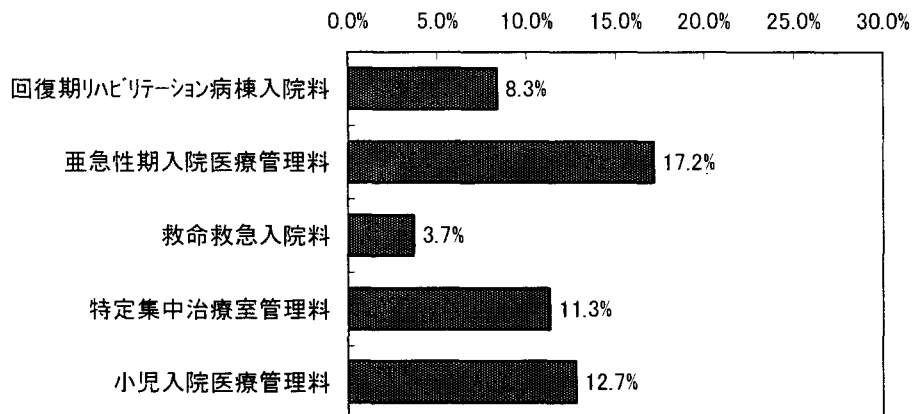
図表 35 病院種別（複数回答、n=408）



図表 36 DPC対応状況

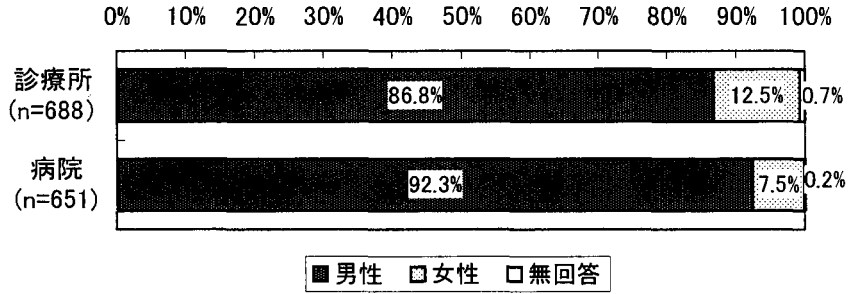


図表 37 特定入院料の状況（複数回答、n=408）

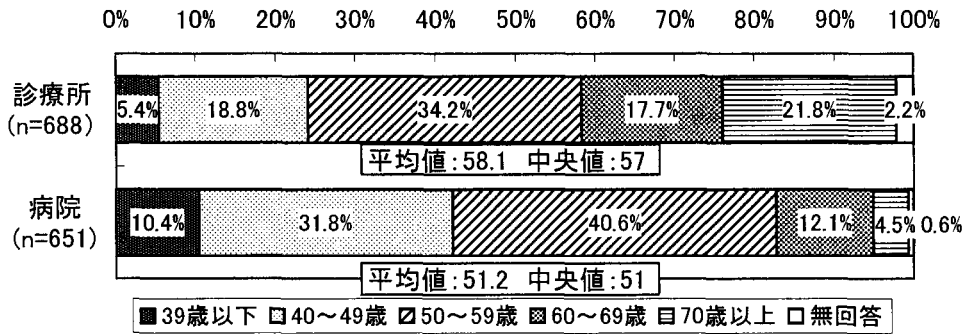


3) 医師の属性

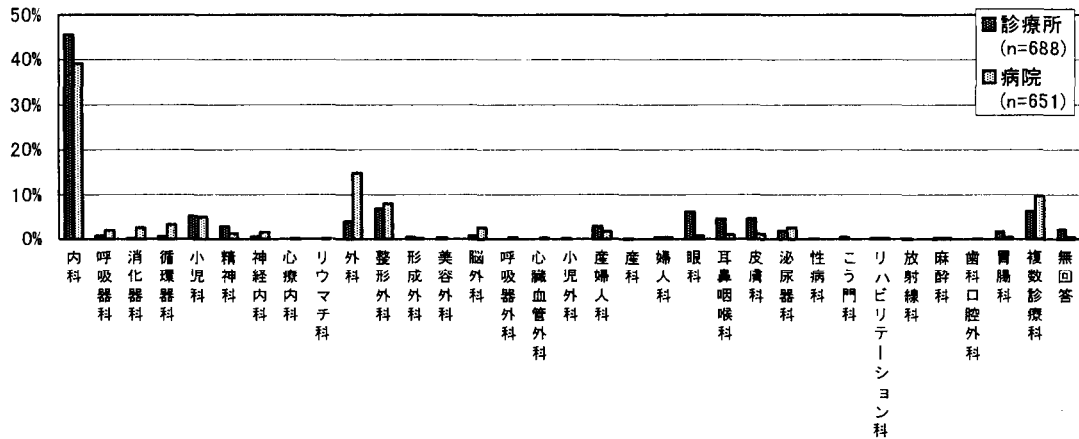
図表 38 医師の性別



図表 39 医師の年齢



図表 40 医師の主たる担当診療科



4) 診療所・病院の体制

図表 41 常勤の医師数・薬剤師数

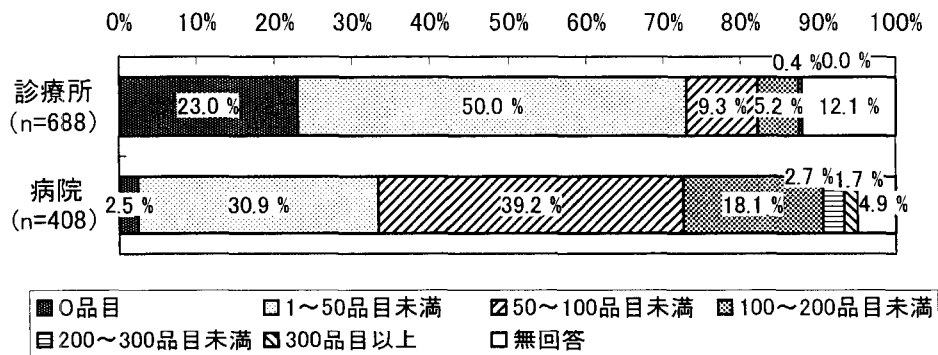
		平均値	標準偏差	中央値
診療所 n=688	医師数(人)	1.2	0.6	1
	薬剤師数(人)	0.1	0.3	0
病院 n=408	医師数(人)	31.4	65.8	9
	薬剤師数(人)	6.4	7.2	4

5) 診療所・病院における医薬品の備蓄状況

図表 42 医薬品の備蓄状況

	診療所(n=688)			病院(n=408)		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
①医薬品備蓄品目数(品目)	149.4	500.3	80.0	881.1	548.6	800.0
②うち後発医薬品の備蓄品目数(品目)	23.4	36.0	9.0	74.7	66.8	61.5
③②/①	15.7%		11.3%	8.5%		7.7%

図表 43 後発医薬品の備蓄状況



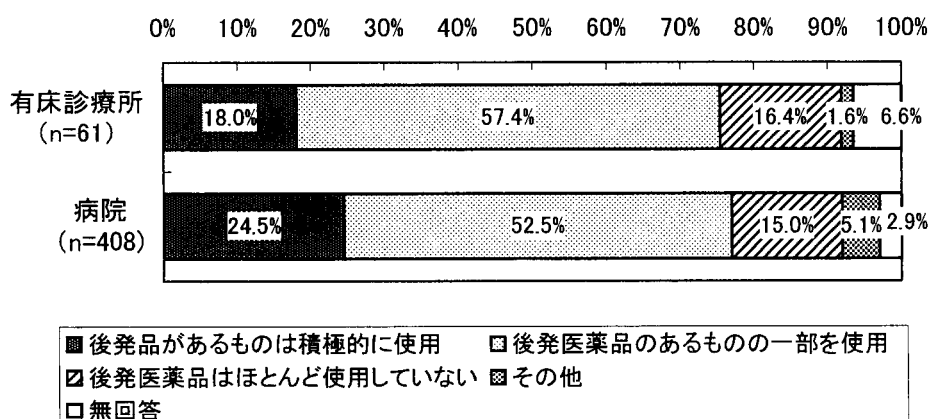
6) 入院患者に対する後発医薬品の使用状況等

図表 44 1 か月間の延べ在院患者数

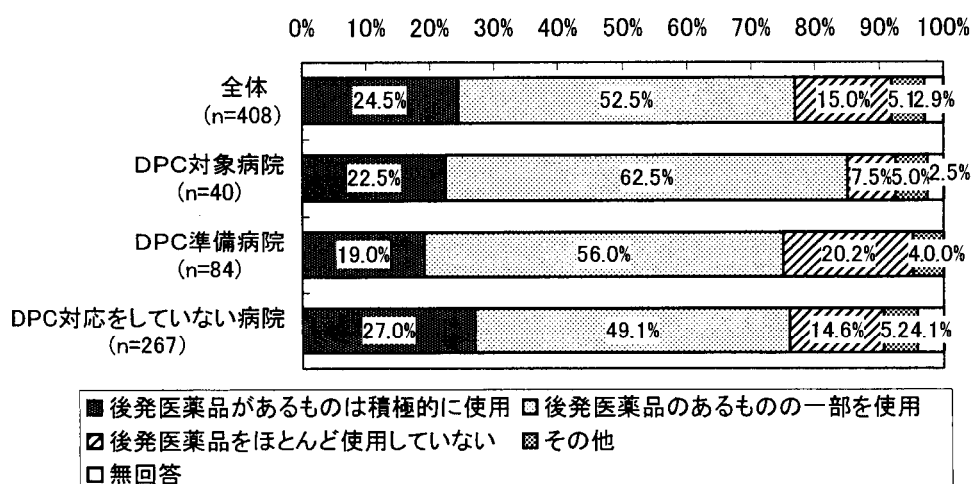
	有床診療所 (n=61)			病院 (n=408)		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
1 か月間の延べ在院患者数(人)	363.0	431.1	277.5	4,782.0	4,505.0	3,312.5

(注) 有床診療所 86 施設のうち平成 19 年 7 月 1 か月間の延べ在院患者数 0 人という施設 25 施設を除いて集計している。以下、同様。

図表 45 入院患者に対する後発医薬品の使用状況

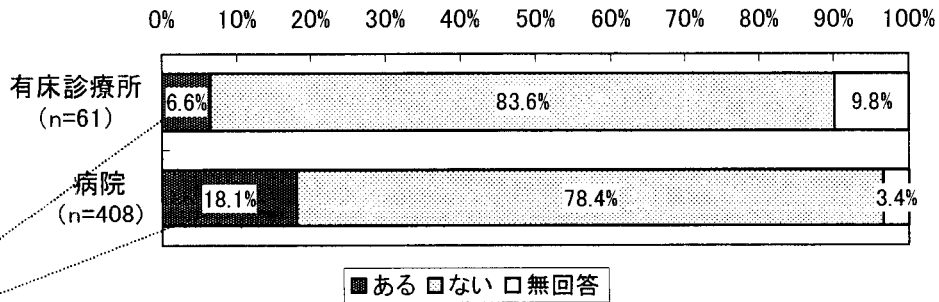


図表 46 病院における入院患者に対する後発医薬品の使用状況 (DPC 対応状況別)

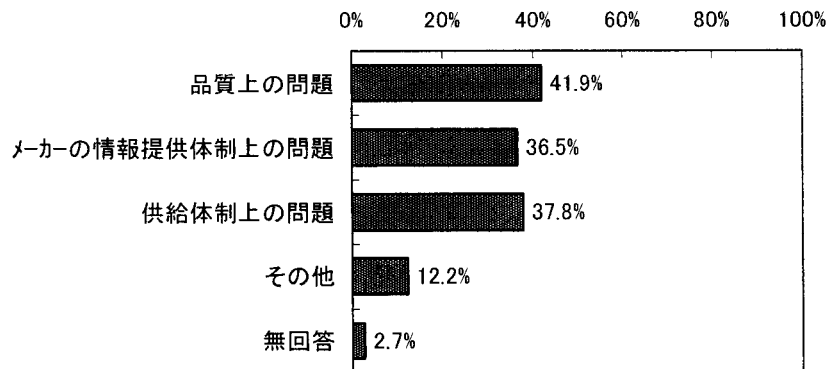


(注) 「全体」には、「DPC 対応状況」について無回答であった 17 施設が含まれる。

図表 47 入院患者に対して後発医薬品を使用して問題が生じた経験の有無



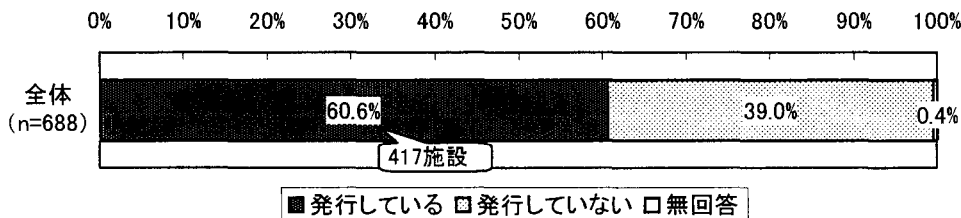
図表 48 「入院患者に対して後発医薬品を使用して問題が生じた経験がある」と回答した施設における、後発医薬品使用で生じた問題（複数回答）（病院 n=74）



※有床診療所 4 件の回答内訳は、「品質上の問題」が 1 件、「メーカーの情報提供体制上の問題」が 2 件、「供給体制上の問題」が 3 件、「その他」が 2 件であった。

7) 院外処方における後発医薬品の使用状況

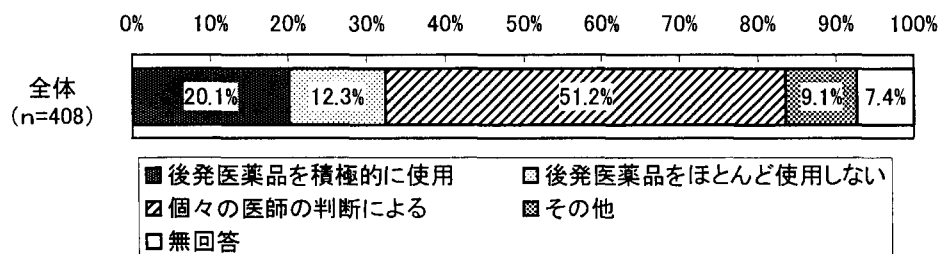
図表 49 診療所における院外処方せん発行状況



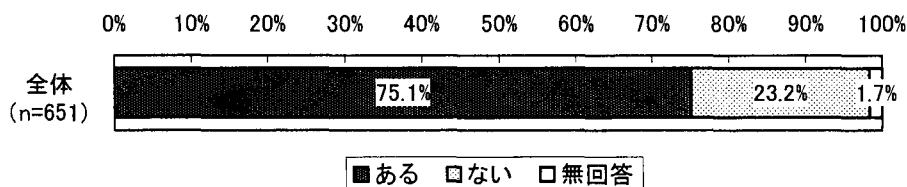
図表 50 診療所・病院における、1か月の院外処方せん発行枚数

	診療所 (n=417)			病院 (n=408)		
	平均値	標準偏差	中央値	平均値	標準偏差	中央値
① 1か月の院外処方せん発行枚数(枚)	718.0	835.9	554.0	3,059.1	3,994.6	1,666.5
② うち後発医薬品を含む処方せん枚数(枚)	372.8	545.4	196.0	1,105.1	1,728.3	546.5
③ ②/①(平均値・中央値)	51.9%		35.4%	36.1%		32.8%

図表 51 病院における外来処方に際しての後発医薬品使用についての施設としての対応

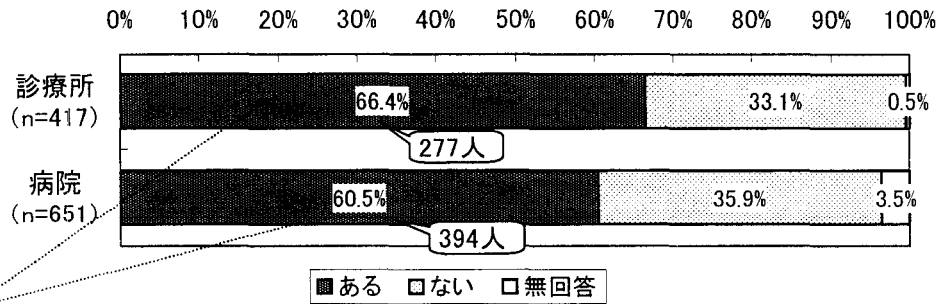


図表 52 病院外来診療担当医における、後発医薬品の銘柄指定をした院外処方せん発行経験の有無 (医師ベース)

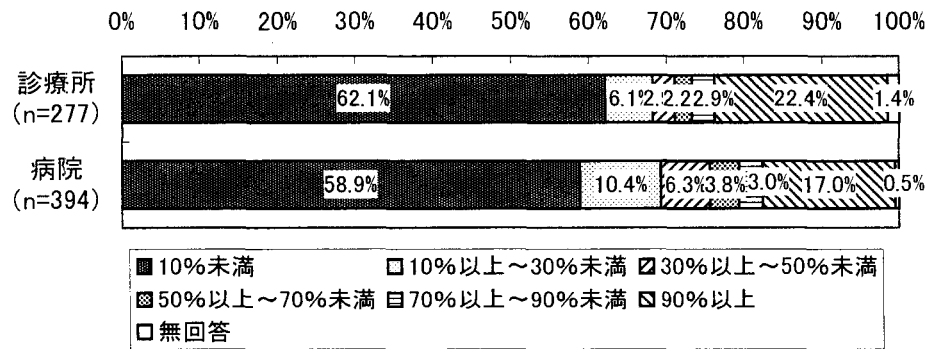




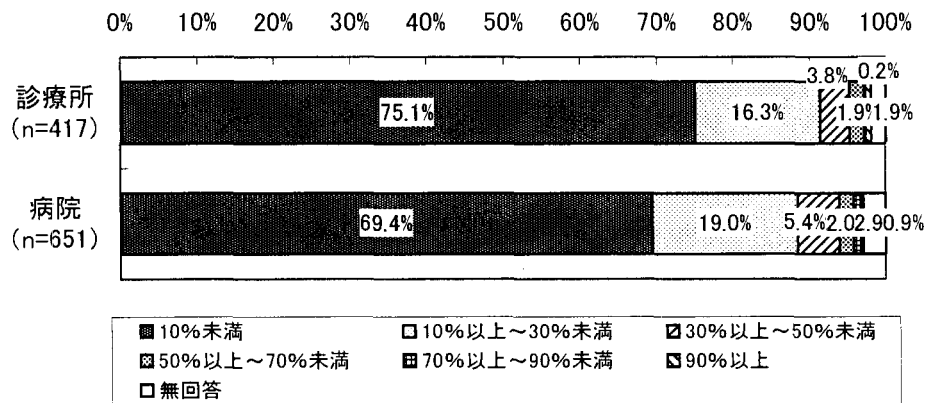
図表 53 「後発医薬品への変更可」欄に署名した処方せんの発行経験の有無（医師ベース）



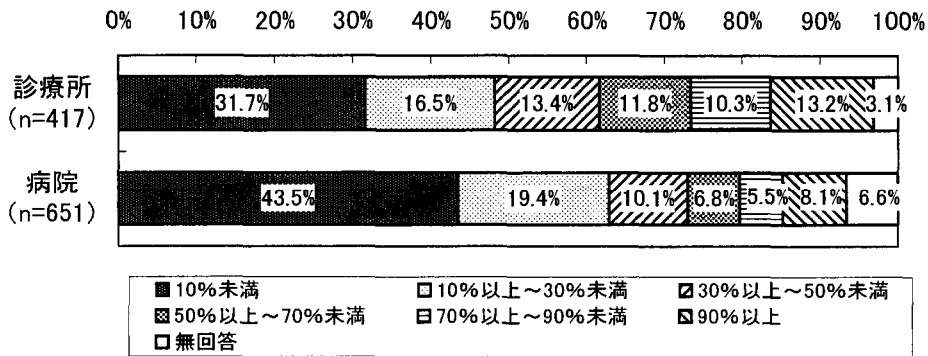
図表 54 このうち、患者の希望で「変更可」欄に署名した処方せんの割合（医師ベース）



図表 55 外来患者のうち、後発医薬品について関心がある（医師に質問する、使用を希望する）患者の割合（医師ベース）

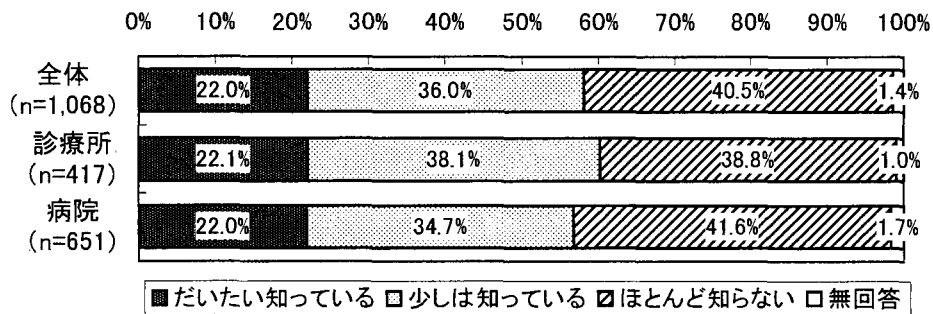


図表 56 院外処方せんを発行した患者のうち、後発医薬品を処方した患者の割合  
 (「後発医薬品への変更可」に署名の場合も含む) (医師ベース)

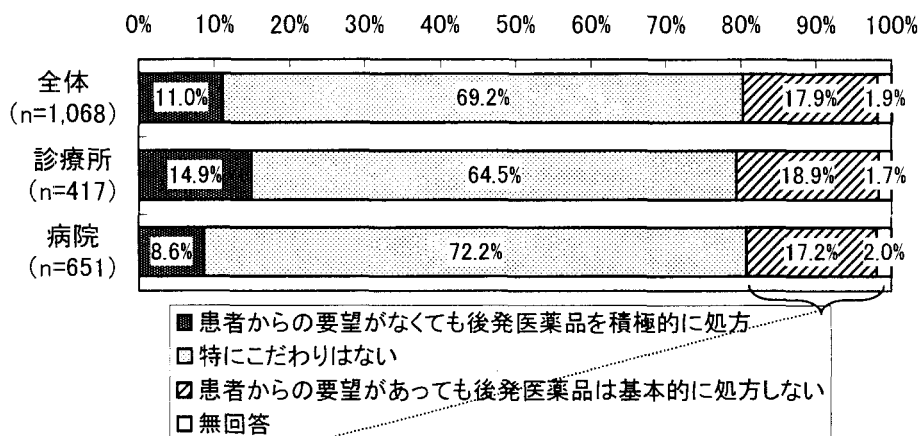


8) 後発医薬品使用に関する意識等

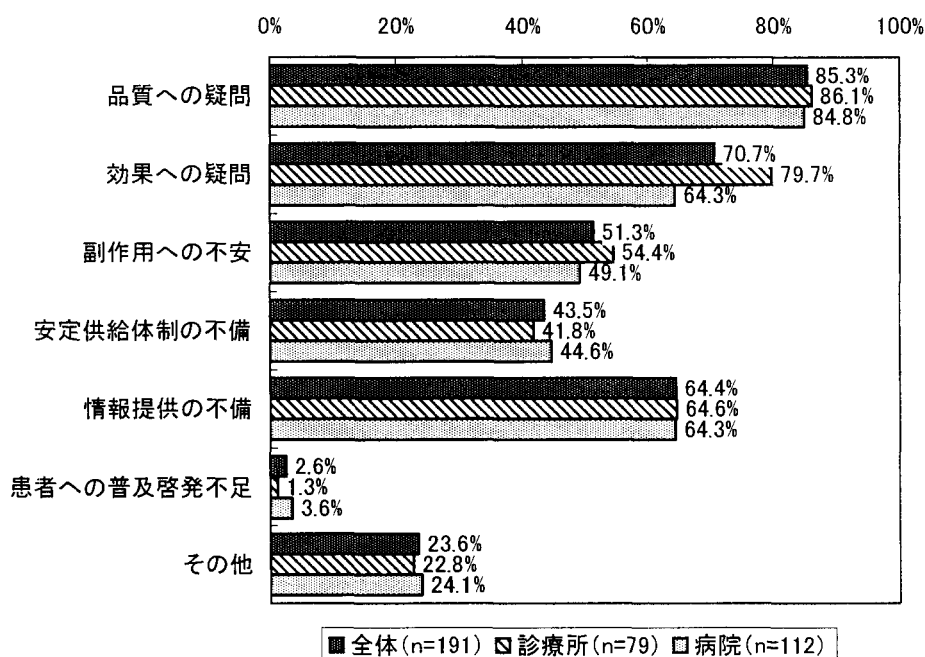
図表 57 医師における、後発医薬品の薬事承認に必要なデータの内容に関する  
 認知状況 (医師ベース)



図表 58 後発医薬品の処方に関する考え（医師ベース）

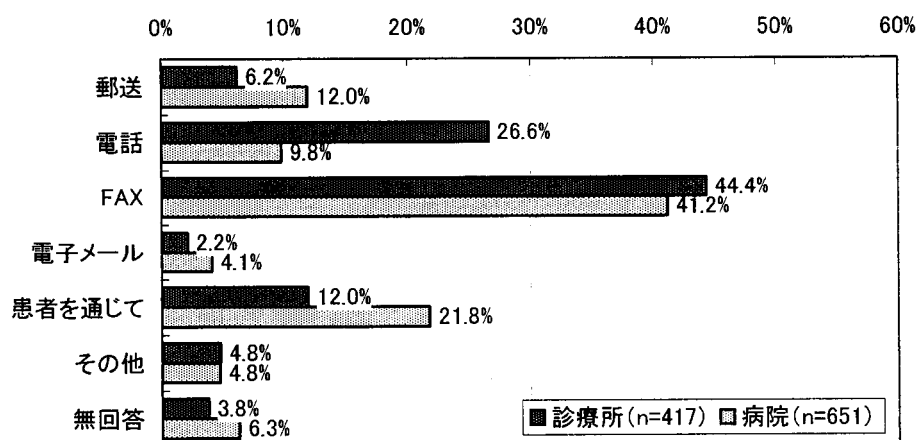


図表 59 「患者からの要望があっても後発医薬品は基本的には処方しない」と回答した医師（診療所 n=79, 病院 n=112）における、後発医薬品を基本的には処方しないその理由（複数回答）

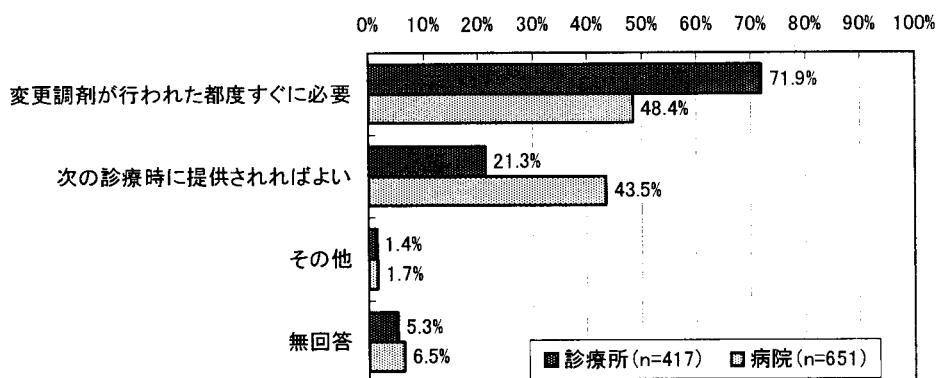


9) 保険薬局からの情報提供についての意向

図表 60 望ましい情報提供方法 (医師ベース、単数回答)



図表 61 望ましい情報提供のタイミング (医師ベース、単数回答)



図表 62 保険薬局から入手したい情報 (医師ベース、複数回答)

